

# パリの最新見本市事情 2014

2014年3月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

**本報告書に関する問い合わせ先：**

**日本貿易振興機構（ジェトロ）**

**金沢貿易情報センター**

〒920-8203 金沢市鞍月 2-20

石川県地場産業振興センター新館 4 階

TEL：076-268-9601

FAX：076-268-9603

**【免責事項】**

ジェトロは、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の損失については、一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。

©JETRO 2014

アンケート返送先 FAX :076-268-9603  
 日本貿易振興機構 金沢貿易情報センター

●ジェトロアンケート●  
 パリの最新見本市事情 2014

ジェトロでは、海外市場参入に向けての自社の戦略を立てる準備をされている日本の中堅中小企業の方々の一助としていただくために本報告書を作成致しました。報告書をお読みいただいた後、是非アンケートにご協力をお願い致します。

■質問1：今回、本報告書で提供させていただきました情報について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

■質問2：上記のように判断された理由、また、その他、本報告書に関する感想をご記入下さい。

■質問3：その他、ジェトロへの今後のご希望等がございましたら、ご記入願います。

■お客様の会社名等をご記入ください。（任意記入）

所属	□企業・団体	会社・団体名
		部署名
	□個人	

・・・ご協力ありがとうございました・・・

※本アンケートにご記入いただきました情報は、当該サービスの向上のために使用致します。

## はじめに

テキスタイル、ファッション、日用品・デザイン雑貨の分野において海外市場、特に、欧州の見本市を活用して世界市場への販路開拓を目指す場合、数多く開かれている国際見本市のなかで、どの見本市に出展すれば良いかを決めて準備を始めるのが、最初の重要なステップとなることは言うまでもありません。

そして、近年、パリで開催される各種見本市において、吸収、合併、運営形態変更などが進んできた結果、2010年5月に「伝統産品領域での欧州市場参入にむけての準備」と題した調査レポートにおいてふれたパリでの展示会（サロン）の概要について内容を修正する必要がでてきました。

そこで、本調査レポートでは、パリでの最新見本市事情にスポットをあてて、自社の商材を出品するのに適当な見本市を見つけるための助けとなり、参加見本市を決める前に現地視察をする際の参考資料となるように、各見本市に関する基礎情報を収集し、取扱い品目やアイテム、編集のポイント等の特徴や見本市の様子についても簡単に説明を加えました。

これが、グローバル市場に参入するために、パリでの見本市に出展を目指す中小企業の方々の参考資料のひとつとなれば幸いです。

2014年3月  
日本貿易振興機構  
金沢貿易情報センター

本報告書はジェトロがミリビス・ジャパン社に依頼しました。

## 目次

1. パリの国際見本市の概況	6
2. それぞれの見本市の概要	7
(1) 総合見本市	
① プルミエール・ヴィジョン・プリュリエル	7
② メゾン・エ・オブジェ	9
③ フーズネクスト	12
(2) 中小規模見本市	
<ファッション>	
① トラノイ (オム&ファミ)	15
② パリ・シュール・モード	18
③ ヴァンドーム・ラグジュアリー	19
④ ZIP ゾーン・パリ	21
⑤ MeMy mode	22
⑥ カプセル (オム&ファミ)	23
⑦ デザイナーズ&エージェンツ・パリ	25
⑧ Woman Paris / Man Paris	27
<小物・雑貨・アクセサリ>	
⑨ プルミエール・クラス	28
⑩ THE BOX	30
⑪ ビジョルカ・パリ	31
<インナー・ランジェリー>	
⑫ アンテルフィリエール・パリ	33
⑬ パリ国際ランジェリー展	35
<テキスタイル>	
⑭ テックスワールド	37
(3) その他	
① ジャパン・エキスポ	39
3. まとめ	41

## 1. パリの国際見本市の概況

ファッションの発信地パリというと、春秋のパリ・コレクションのショーのイメージが強いかもしれないが、服だけではなく、アクセサリー、雑貨、インテリア、テキスタイルなど、生活全般に関わる様々な展示会がパリでは毎年開催される。フランス国内のマーケットは決して大きくはなく、新しい商材を見つけ出し取り扱っていかうというバイヤーの姿勢も積極的とは言えないが、それぞれの分野で世界をリードする展示会がパリでは開かれている。世界に向けて自社の商品をおいていかうと考えた時、パリの展示会に出展するという方法は、取り組みやすい第一歩と考えられる。

展示会は、大きな時代の流れの中で、主催者の意向や出展者の変化により、その質を変えていくものであるが、ここ数年、パリの展示会も大きく変化してきている。

以前からあった比較的規模の大きかったプルミエール・ヴィジョンやフーズネクスト等の展示会は他の展示会を買収するなどしてさらに巨大化し、クリエイター・サロンの代表格だったトラノイには投資会社の資本が入り規模を拡大し、次第に『ビジネスとしての成功』を重視し、出展者に対してドライになってきている。そうした中でも、展示会は何とかそれぞれの特徴を出し、より良いサービスを提供し、文化を発信する場所であろうと、様々な試みがなされている。

また、巨大化した展示会はさらなる発展を求めて国際化し、アジアやアメリカへの進出も進み、中国やシンガポール、アメリカで開催されるようになってきている。

海外へ向けてのこうした動きと同時に、パリ・キャピタル・ド・ラ・モードや、パリ・デザイン・ウィークなど、パリ全体をデザインの発信地とするべく、小さなアトリエやギャラリー、小規模な展示会なども含めて、パリ市を中心としてメディアに発信する努力も行われている。

メインの展示会が巨大化する中で、それぞれの明確な特徴をアピールする小規模な展示会がいくつもできており、特にファッションの服と雑貨については10社以上がそれなりの成果をあげている。

もう一つ無視できない大きな流れとしては、展示会のバーチャル化がある。実際の展示会で実物を見る事が一番重要なものには変わりはないが、その場所まで移動できない潜在的なクライアントに向けて、情報をいかに届けるかは、各展示会の大きな課題であり、追加発注ではすでに多くのブランドが利用しはじめているBtoBのバーチャルショールームだけでなく、展示会に関しても、これからさらにいろいろな試みが行われていく事だろう。

本報告書では、以上のような流れの中で、それぞれの存在感をそれぞれの立場で模索するパリの展示会の最近の動きについて、ご説明していきたい。

## 2. それぞれの見本市の概要

### (1) 総合見本市

- ① プルミエール・ヴィジョン・プリュリエル <http://www.premierevision.com/>  
<http://www.premierevision-pluriel.com/>

プルミエール・ヴィジョンは、パリの北郊外シャルルドゴール空港近くの展示会場で、年2回開かれる服飾用テキスタイルの見本市である。

# PREMIÈREVISION

1973年にリヨンの絹織物業者15社の合同展示会として出発し、年々規模をひろげ、1980年代には他のヨーロッパの国々からも出展者を受け入れ、2002年にはヨーロッパ以外にも門が開かれ、日本からも6社が出展した。現在では、世界中の主要なテキスタイル・メーカーが出展する最も重要な国際的な生地見本市としての地位を確立し、ここで発信されるトレンドは繊維業界全体に影響を与えるものとなっている。

2000年からはニューヨーク、2004年からは上海、2009年からはサンパウロでも開かれ、2014年秋にはイスタンブールで開催される予定である。

2011年からは Maison d'Exceptions (メゾン・デクセプション) というエリアを創設し、「類まれな素材」や「伝統を生かした技術あるいは素材」を基準にセレクトした小規模でも特別なクリエイションが出来るメーカーを集め、ハイエンドのメゾンやブランドをターゲットにした提案をしている。このスペースに入場するには招待状が必要で、混雑を避けるために入場もコントロールされ、じっくりと商談が出来るように配慮されている。2月展のみで開催されるが、伝統工芸系の特別なテクニックを持った織元等が、小さなスペースに出展することが可能になった。

メゾン・デクセプションを含め、プルミエール・ヴィジョンへの出展希望者は自社の素材や資料を提出して審査を受ける必要があり、オーガナイザーが提出された素材を見て、可否および出展するセクターを判断する。生産設備を持つ機屋あるいは生地コンバーターが出展することが出来るが、要求されるクリエイションのレベルは高く、スクリーニングを通過するのは大変難しい。



2014年2月展 フォーラム  
(写真はプルミエール・ヴィジョン公式サイトより)



2014年2月展 knitwear solutions

2005年から、プルミエール・ヴィジョンは同時期に同じパリ・ノールの会場で開催される5つの服飾関連の展示会を統合し、『プルミエール・ヴィジョン・プリュリエル』という冠のもと、入場券も共通にし、統一感のある総合見本市としての道を進み始めた。

2008年にはZoom by Fatexも加わり、2014年2月のPVプリュリエルは、以下の6展示会で構成された。

- 1) Première Vision プルミエール・ヴィジョン (テキスタイル)
- 2) Expofil エクスポフィル (ヤーン・ファイバー)
- 3) Indigo インディゴ (テキスタイルデザイン)
- 4) Cuir à Paris キュイール・ア・パリ (皮革)
- 5) Modamont モーダモン (服飾資材)
- 6) Zoom ズーム (アパレルのOEM)

2013年9月に Zoom をユーロヴェット社より買い取り、2014年3月に皮革を扱う Cuir à Paris も傘下に入り、2014年9月展からは上記6つの展示会のすべてを、プルミエール・ヴィジョン社が主催することとなった。

● **オーガナイザー** : PREMIERE VISION SA

59 Quai Rambaud CS 30162 69285 LYON CEDEX 02- France

Tel: +33 (0)4 72 60 65 00 Fax: +33 (0)4 72 60 65 09

[info@premierevision.com](mailto:info@premierevision.com)

責任者 : Philippe Pasquet

● **サロンの期間** : 年2回 3日間

2月 : 春夏コレクション

9月 : 秋冬コレクション

● **サロン (プルミエール・ヴィジョン) のセクター** (2014年2月展) :

- 1) セダクション : ファンシー性の高い素材 (刺繍、リボン、レース、フェイクファー、プリント、ウール素材、ニット、シルク)
- 2) ディスティンクション : エレガント、フォーマル、構築的な素材 (スーツ素材、裏地、先染め、シャツ素材)
- 3) リラックス : コットン、リネン、デニム等 (ウォッシュ&ダイ、先染め、シャツ素材)
- 4) パルセーション : スポーツ、テクニク、パフォーマンス素材 (ニット、テクニカル素材)
- 5) ニットウエア・ソリューション : 横編用ヤーンとニット生産のノウハウを持つニッター
- 6) メゾン・デクセプション : 伝統技術等を生かした特別な素材

- **場所** : Paris-Nord/Villepinte Parc des Expositions  
(パリ・ノール パーク・デ・エクスポジション) 見本市会場
  
- **出展者数** : プルミエール・ヴィジョン 740 社 (2014 年 2 月)  
 国別トップ 10 (イタリア - 338 フランス - 90 トルコ - 74 日本 - 40 韓国 - 27 ポルトガル - 26 スペイン - 24 イギリス - 23 ドイツ - 18 中国 - 16)  
 プルミエール・ヴィジョン・プリュリエル 1772 社 (2014 年 2 月)  
  
 プルミエール・ヴィジョン 774 社 (2013 年 9 月)  
 国別トップ 10 (イタリア - 352 フランス - 86 トルコ - 72 日本 - 32 イギリス - 32 スペイン - 26 ポルトガル - 25 韓国 - 25 中国 25 ドイツ - 19)  
 プルミエール・ヴィジョン・プリュリエル 1950 社 (2013 年 9 月)
  
- **来場数** : プルミエール・ヴィジョン 51,854 (2014 年 2 月)  
 73%がフランス以外の国から。英国 - 13% イタリア - 11% ドイツ - 6% スペイン - 6% 日本/韓国/中国等アジア - 9% USA - 4% トルコ - 3.5%  
 プルミエール・ヴィジョン・プリュリエル 61,641 (2014 年 2 月)  
  
 プルミエール・ヴィジョン 52,804 (2013 年 9 月)  
 プルミエール・ヴィジョン・プリュリエル 62,932 (2013 年 9 月)
  
- **日本窓口** : 有限会社ケイアンドコー  
 〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-12-3 西村ビル 4F  
 Tel : 03-3834-1767 Fax : 03-3834-1789  
[keiandco@premierevision.com](mailto:keiandco@premierevision.com)

② メゾン・エ・オブジェ Maison et Objet      [www.maison-objet.com](http://www.maison-objet.com)

1995年に創設されたメゾン・エ・オブジェは、年に2回、パリの北郊外で開かれるインテリア、家具、食器、ギフト、照明などの総合展示会である。メゾン (maison=家) に関わるあらゆるジャンルの商品が展示され、インテリア・デザインのトレンドを世界に向けて発信する場である。13万平米を超える会場はアイテム別に8つのホールに分かれ、小規模なクリエイターや伝統工芸工房から大手ラグジュアリー・ブランドまで3000以上のブランドが出展する巨大見本市である。

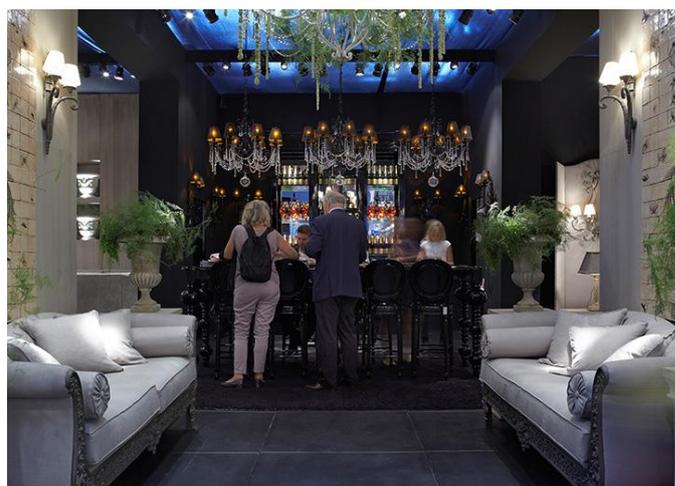


2014 年からはフランス以外の国への進出が決まり、3 月にはメゾン・エ・オブジェ・アジアとしてシンガポールで第 1 回目が開かれた。2015 年 5 月にはアメリカ展として、マイアミでの開催も予定されている。

最近では、日本からの出展者も多いが（70 ブース 2014 年 1 月）、出展希望者は厳しい審査を受けなければならない。出展の可否も出展するセクターもすべて主催者が決定する。出展に OK が出た後も、どのホールのどの位置にどのような形のブースが割り当てられるか通知してくるまでに時間を要することがあり、その場合は不確定なまま準備を進めなければならない。



2013 年 9 月展 now ! design à vivre  
（写真は Maison et Objet 公式サイトより）



2013 年 9 月展 côté déco

- **オーガナイザー：SAFI**（フランス工芸家組合とリード・エクスポジション・フランスの共同出資による展示会運営会社）

4 passage Roux. 75850 Paris Cedex 17- France

Tel: +33 (0)1 44 29 02 00 Fax: +33 (0)1 44 29 02 01

[info@safisalons.fr](mailto:info@safisalons.fr)

責任者：Philippe BROCARD

- **サロンの期間**：年 2 回 5 日間

1 月、9 月

服の展示会とは違い、それぞれの会期のシーズンは明確ではなく、セクターによって納期が異なる。小物や雑貨は数ヵ月後に納品するというのが普通である。

- **サロンのセクター**（2014 年 1 月展）：

ethnic chic：エスニックや特別なテイストの製品

textile：ホームリネン、布製雑貨

cook+design : 2013 年 9 月展より La table と呼ばれてきたセクターが名称変更  
 テーブルウエアに、調理器具、食品等も 加わる。ワークショップやシェフ  
 のデモンストレーションなどで活性化されている

côté déco : インテリアデコレーション全般

craft : 工芸品

ACTUEL : 都会的でモダンなインテリアをセレクション

accessories maison : ホーム関連雑貨

scène d'intérieur : 洗練されたハイレベルのインテリアデコレーション

M&O éditeurs (1 月展のみ) : インテリアテキスタイルの国際的なメゾン

M&O projets (9 月展のみ) : 床材、ドアノブ、洗面台等、建築関係者向け商材

now ! design à vivre : アバンギャルドでクリエイティブなデザインのセレクション

- **場所** : Paris-Nord/Villepinte Parc des Expositions  
 (パリ・ノール パーク・デ・エクスポジション) 見本市会場
- **出展者数** : 3,245 ブース (2014 年 1 月) 内 1,973 フランス国内 1,272 海外より
- **来場数** : プレス以外 83,282 (2014 年 1 月) 内 51%フランス国内 49%海外より  
 ジャーナリスト 3,315 内 54%フランス国内 46%海外より
- **日本窓口** : 株式会社 デアイ  
 東京都港区南青山 5-4-6-308  
 TEL 03-3409-9495 FAX 03-3409-9684  
<http://www.deai-co.com/> e-mail [m-ojapon@deai-co.com](mailto:m-ojapon@deai-co.com)



Maison et Objet 2014 年 1 月展 (写真は Journal du Textile より)

### ③ フーズネクスト WHO'S NEXT

[www.WHOSNEXT.com](http://www.WHOSNEXT.com)

1994年に始まったフーズネクストは、プロフェッショナル向けのウエアと雑貨の見本市として、世界各国から出展者とバイヤーを集め、年2回1月と7月にパリで開催されている。

2011年、オーガナイザーのWSN デベロップメントは、同時期に同じポルト・ド・ヴェルサイユで開かれていた プレタ・ポルテ・パリ展などを買収し、2012年の1月展からは、ファッション関連すべてを統合した巨大な展示会として存在感を示している。

フーズネクストは当初はストリートウエアのサロンとして始められたが、シューズ、小物等のサロンであるプルミエール・クラスも傘下におさめ、ジーンズから、レディースのプレタポルテ、イブニングドレスまで幅広い提案をしている。

商業的なアパレル企業や小物メーカーが大きな販売量を目指すのであれば、ビジターの数も多いフーズネクストが適している。

出展希望者は、コレクションの情報をオーガナイザーにメール等で送り、スクリーニングを受ける必要があり、資料を送るとどのセクションに適した商材かを判断して、知らせてくる。レディースのクリエイター部門のFAME、小物のPREMIERE CLASSEは、レベルの高いクリエイションを要求され、希望してもスクリーニングを通過するのは難しい。



2014年1月展 (写真はWho's Next公式サイトより)



2014年1月展 Who's Next Accessories (写真は Journaldu Textile より)

- **オーガナイザー : WSN DEVELOPPEMENT**

27 / 29 RUE GUÉNÉGAUD, 75006 PARIS, FRANCE

Tel : +33 (0)1 40 13 74 74 - Fax: +33 (0)1 40 13 74 84

[info@whosnext.com](mailto:info@whosnext.com)

責任者 : Xavier CLERGERIE 、 Bertrand FOÛCHE

- **サロンの期間 : 年2回 4日間**

1月 : 秋冬コレクション

7月 : 春夏コレクション

- **サロンのセクター (2014年1月展) :**

**1) READY TO WEAR : 約 700 ブランド**

前シーズンまで PRIVATE (レディスプレタゾーン) と Mr.&Mrs. Brown (ユニセックスのアーバンウエア) に分かれていた二つを統合した服のセクター。コンテンポラリー・ファッションから、ストリートウエア、ナイトドレスまで、すべてをカバーする。

顧客を持つ大手アパレルから、小規模なブランドまで、国籍もテイストも幅広く、フーズネクストの中で最も大きなセクションである。

## 2) FAME : 約 300 ブランド

ある程度評価の確立したクリエイティブで品質の良いレディス高級ブランドを集めたフーズネクストの中でも評判の高いセクター。

高級セレクトショップや、デパートがターゲット。

## 3) ACCESSORIES : 約 700 ブランド

これまでいくつかに分かれていた小物のセクターを統合。シューズ、革製品、ジュエリー、布製アクセサリなど、コレクションは多岐にわたる。2014年1月展から靴セクションが拡大され、充実してきている。

## 4) PREMIERE CLASSE : 約 300 ブランド

シューズ、バッグ、アクセサリなどの小物の中でもクリエイティブなブランドを集めたセクター



2014年1月展  
(写真は Journal du Textile より)

- **場所** : Paris Porte de Versailles (パリ ポルト・ド・ヴェルサイユ) 展示会場
- **出展者数** : 2014年1月 およそ 2000 (プレタポルテ 1000 ブランド 小物 1000 ブランド)
- **来場数** : 2014年1月展 58,232人 前年同期比 +1%  
(64% : フランス国内 36% : 海外より)
- **日本窓口** : 株式会社 デアイ  
東京都港区南青山 5-4-6-308  
TEL 03-3409-9495 FAX 03-3409-9684  
<http://www.deai-co.com/> e-mail [office@deai-co.com](mailto:office@deai-co.com)

## (2) 中小規模見本市

### <ファッション>

#### ① トラノイ TRANOI [www.tranoi.com](http://www.tranoi.com)

トラノイは1991年にマリエル・ガンボアによって始められた服と小物の合同展示会（サロン）だが、2004年3月から、パリの有名セレクトショップ、エクレルールのオーナー、アルマン・アディダが彼女に代わって運営している。メンズとレディースのサロンが開かれているが、両方とも春と秋のパリ・コレクションの時期に合わせている。



ガンボアの時代はしっかり作りこんだエレガントなコレクションが中心だったが、アディダに代わってからはよりクリエイティブな方向性を取り、さらに展示会の拡大とセクションをアルマンの息子ミカエルが担当するようになって、ストリート系やアバンギャルドなブランドが増え、パリのファッション・ウィーク中に開かれる最も尖がったサロンとして注目されてきた。しかし、この数年フーズネクストが規模を拡大し、巨大サロンへの道を歩み始める時代の中で、トラノイも変化してきている。2011年には、展示会ビジネスの専門家であるパトリック・ルセートルが株主となり、2013年には、投資ファンド PERFECTIS が30%の株を取得し、アルマン・アディダとルセートルが35%ずつ保有して経営にあたり、息子のミカエルはトラノイの運営から退いている。

また2013年よりフーズネクスト等が開かれるファースト・セッション（1月と7月）にあわせて、レディースのトラノイ・プレビューを開催するようになり、2014年1月には、「今後は春夏秋冬と4つのシーズンに合わせた4回開催へと移行する」と発表し、これからの動きが注目されている。2014年1月末に開かれたトラノイ・プレビューには80ブランドが参加し来場者の数も30%近く増やし、次回2014年7月展の際には、会場を Garage Turenne から Palais de la Bourse へ移す予定である。2013年9月展（レディース）より、入場が有料となり、それまで休憩用の空間だった場所にも展示スタンドを詰め込み、出展者数を増やしたため、展示会の雰囲気が変わりつつあるという印象を持つ既存の出展者も多かった。

レディースのトラノイは、会場がパレ・ド・ラ・ブルス、モンテーニュ、カルーゼル・ド・ルーブルの3か所に分かれ、ブルスにはある程度評価が確かなものになっている古くからの出展者が多く、モンテーニュはクチュールに近いドレスなどエレガントなコレクションが集められ、ルーブルにアバンギャルド系の新人クリエイターというテイスト分けになっている。メンズはパレ・ド・ラ・ブルス会場のみで、期間も3日間と1日短い。

出展するためには、スクリーニングを受ける必要があり、まずメールで商品の写真、デザイナーのプロフィール等を送り、コレクションのクリエイティビティーをアピールしなければならない。要求されるレベルはかなり高く、トラノイのテイストに合わないと判断されれば、断られることも少なくない。



トラノイ メンズ 2014 年 1 月展

- **オーガナイザー:** TRANOI

29 bis, rue des Francs Bourgeois 75004, Paris FRANCE

Tel : +33 (0)1 53 01 84 90 Fax : +33 (0)1 42 71 07 03

メンズ: [man@tranoi.com](mailto:man@tranoi.com) レディース: [woman@tranoi.com](mailto:woman@tranoi.com)

責任者: David Hadida (ダヴィッド・アディダ)

- **サロンの期間:** レディース、レディース・プレビュー、メンズ それぞれ年 2 回

レディース(4 日間): 2 月末~3 月初め 秋冬コレクション

9 月末~10 月初め 春夏コレクション

レディース・プレビュー(3 日間): 1 月

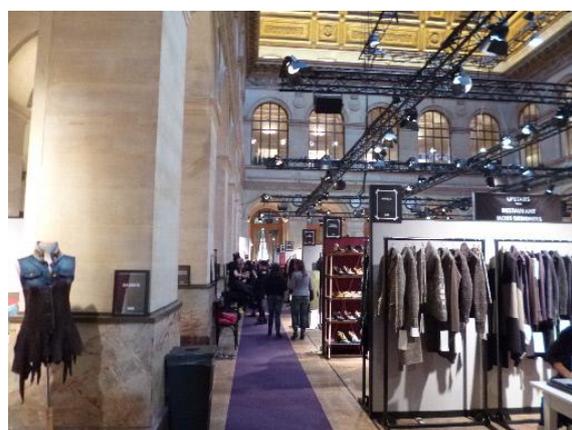
7 月

メンズ(3 日間): 1 月 秋冬コレクション

7 月 春夏コレクション

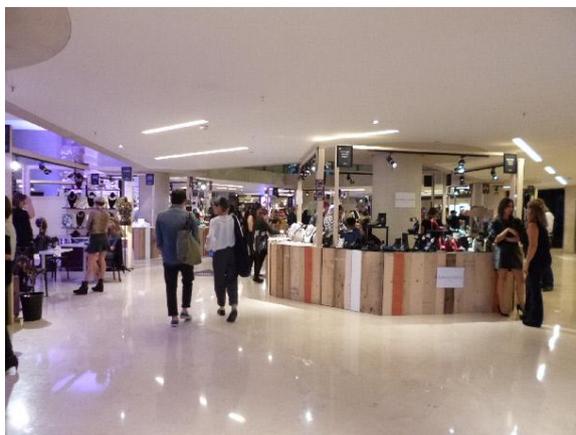
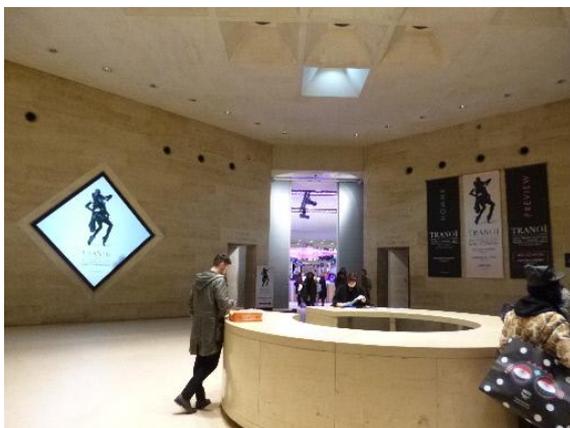
- **場所:** PALAIS DE LA BOURSE (パレ・ド・ラ・ブルス):

Place de la Bourse, 75002 Paris



## CAROUSEL DU LOUVRE (カルーゼル・ド・ルーブル) :

99 rue de Rivoli, 75001 Paris (レディースのみ)



## MONTAIGNE (モンテーニュ) : 7 Rond Point des Champs Elysées, 75008 Paris

(レディースのみ)



(写真は2014年3月レディース展)



- 出展者数 : レディース 約 550 ブランド (2014年3月)  
 (ブルス : 130 ルーブル : 370 モンテーニュ : 50 )  
 メンズ 約 150 ブランド (2014年1月)
- 来場者数 : 未発表
- 日本窓口 : なし

② パリ・シュール・モード PARIS SUR MODE[www.parissurmode.com](http://www.parissurmode.com)

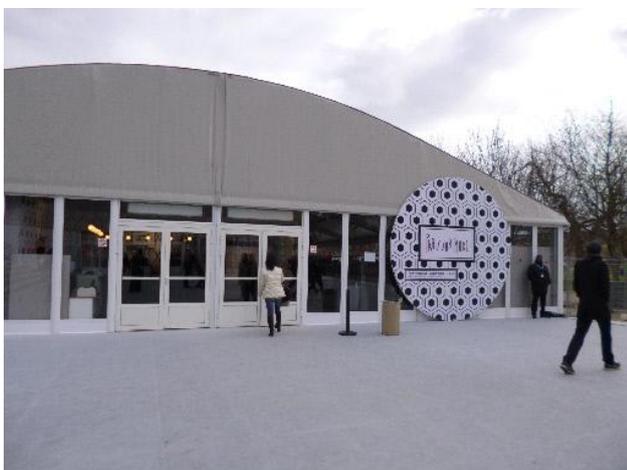
パリ・シュール・モードは年 2 回春と秋のパリ・コレクションの時期にあわせて開催されるクリエイターの合同展示会（＝サロン）。出展者は主に服のデザイナー・ブランドで、この時期に、大小あわせると 20 近いクリエイター・サロンがパリのあちこちで開かれるが、パリ・シュール・モードは、チュイルリー公園にはられたテントの中で行われる重要なサロンの一つである。



パリ・シュール・モードは、1990 年に創設された歴史のあるサロンだが、2009 年 10 月展からは、運営がフーズネクスト（＝WSN デベロップメント）に移り、クリエイターの展示会として評価の確立していたアトモスフェールを吸収し、会場のづくりも明るくポップに一新され、同じ傘の下で行われる小物のプルミエール・クラスと一続きのクリエイティブなサロンへと様変わりした。DBH (Don't Believe the Hype)と名付けたメンズ・レディースのミックスブランド・セクションも 2014 年 3 月展では 16 ブランドとなり、3 シーズン目となっている。

テント内ではないが、近くで開かれている小物の THE BOX 展も、同じ会社の運営となっている。以前はドレスやプレタポルテ系の出展者が多かったが、徐々にクリエイター色を強め、コンテンポラリーなヤング・クリエイターのブランドも増えてきている。トラノイのようにアバンギャルドを目指すのではなく、エレガントなコレクションが集められた落ち着いた雰囲気のあるサロンであり、日本のファクトリー・ブランドも参加しているが、世界中の高級セレクトショップや百貨店をターゲットとしているので、出展ブランドに要求するクリエイションやオリジナリティのレベルはかなり高い。

運営の責任者ソフィ・ギュイヨは、パリのクリエイター・サロンの創始者とも言えるミュリエル・ギュイヨの娘で、母親譲りの確かな『目』と、『パッション』を持って運営にあたっている。出展ブランドのチョイスをしているのも彼女で、「テイストの違うコレクションが入っても、オーダー獲得にはつながらない」というはっきりした信念を持っており、ターゲットが違っていると判断されれば、スクリーニングを通過することは出来ない。



Paris sur Mode 2014 年 3 月展

- **オーガナイザー: WSN DEVELOPPEMENT**

27 / 29 RUE GUÉNÉGAUD, 75006 PARIS, FRANCE

Tel : +33 (0)1 40 13 74 74 - Fax: +33 (0)1 40 13 74 84

[info@parissurmode.com](mailto:info@parissurmode.com)

運営責任者 : Sophie Guyot

- **サロンの期間:** 年 2 回 4 日間

2 月末～3 月 : 秋冬コレクション

9 月末～10 月 : 春夏コレクション

- **場所:** Terrasse des feuillants, Jardin des Tuileries 75001 Paris

(チュイルリーのテント)

- **出展者数:** 約 110 ブランド (2014 年 3 月)

- **来場者数:** 16,990 (2013 年 4 月) (同一のチケットで入場できるパリ・シュール・モード、プルミエール・クラス、ドント・ビリーブ・ザハイプ、ザ・ボックス全体の来場者数)

2013 年 3 月展に比べ 5% 増。フランス国内から: 39% 海外から: 61% (フランス以外のヨーロッパから 5,842 人 日本からは 2,068 人 前年大きく減少したアメリカからの来場者も 890 人と回復)

- **日本窓口:** 株式会社 デアイ

東京都港区南青山 5-4-6-308

TEL 03-3409-9495 FAX 03-3409-9684

<http://www.deai-co.com/> e-mail [office@deai-co.com](mailto:office@deai-co.com)

### ③ ヴァンドーム・ラグジュアリー Vendôme Luxury #21

<http://www.xxb.fr/>

ヴァンドーム・ラグジュアリーは、キャロル・ド・ボナによって、2004 年にヴァンドーム広場の豪華な建物に、エレガントでラグジュアリーなコレクションを集めて始められたサロン。90 年代には、“キャロル・ド・ボナ”という自分の名前をつけたアバンギャルドなクリエイターのサロンを運営していたが、一転して、ハイエンドのサロンを始め、2014 年 3 月展で 21 回目となる。



出展者は欧米系の比較的評価の定まったブランドが中心で、ターゲットがかなり特殊なので、日本のブランドの参加はほとんどないが、世界にはこうしたマーケットがあるということを実感することのできる場である。2014年3月展の様子を見ると、活気もあり、中東、アメリカ、中国等のバイヤーがオーダーを入れている姿が見受けられた。

会場はヴァンドーム広場周辺の2か所に分かれ、いずれもデラックスな雰囲気、ホテル・ムーリスにはハイエンドのレディスウエアやドレス、ホテル・エヴルーにはイブニングドレスに加え、アクセサリ等も置かれている。



ホテル・ムーリス会場

- **オーガナイザー: Studio XXB**

16, Place Vendôme, 75001 Paris, FRANCE

Tel : +33 (0)6 18 87 07 12 Fax : +33 (0)1 79 75 98 28

[com@vendomeluxury-paris.com](mailto:com@vendomeluxury-paris.com)

責任者 : Carole de Bona

- **サロンの期間: 年2回 4日間**

2月末~3月 : 秋冬コレクション

9月末~10月 : 春夏コレクション

- **場所: Le Meurice (ホテル・ムーリス)**

6 rue de Castiglione, 75001 Paris

Hôtel d'Evreux - Salons, Salle des Tirages (ホテル・エヴルー)

19 Place Vendôme, 75001 Paris

- **出展者数 : 40 (2014年3月)**

- **来場者数 : 未発表**

- **日本窓口 : なし**

④ ジップゾーン ZIP ZONE<http://www.zipzonefrance.com/>

マレー地区でショールームを運営していたジップゾーンが 2004 年に始めた服と小物のサロン。年に 2 回春と秋のレディースのパリ・コレクション時期に、ルーブル美術館に隣接する装飾美術館で開かれている。シックな会場にアバンギャルドな若いクリエイターのコレクションが並んでいる。



## ● オーガナイザー： Zip Zone France

5 rue Castiglione, 75001 Paris France

Tel : +33 (0)6 31 48 62 89

[info@zipzonefrance.com](mailto:info@zipzonefrance.com)

責任者：Alessandra Stretti

## ● サロンの期間： 年 2 回 3 日間

2 月末～3 月：秋冬コレクション

9 月末～10 月：春夏コレクション

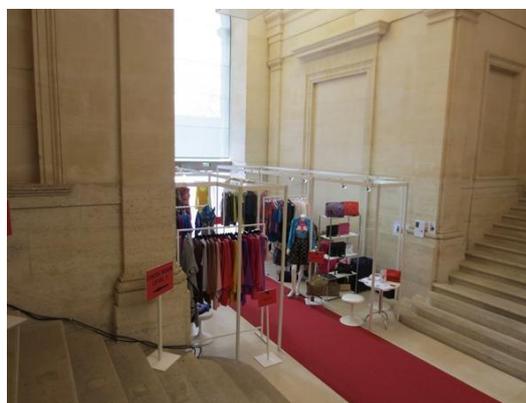
## ● 場所： Musée des Arts Décoratifs (装飾美術館)

103 rue de Rivoli, 75001 Paris France

## ● 出展者数：34 (2014 年 3 月)

## ● 来場者数：未発表

## ● 日本窓口：なし



## ⑤ ミーマイモード MeMy Mode

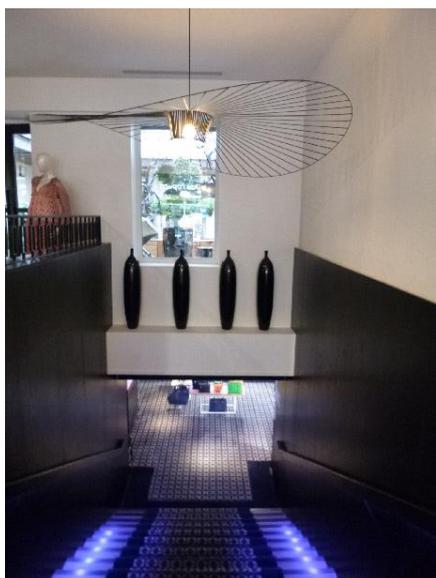
<http://www.memymode.com/>

90年代にトラノイをオーガナイズしていたマリエル・ガンボアが2010年3月にあらたに始めたサロン。規模の大きさを誇るのではなく、彼女がセレクトした服と小物のコレクションを雰囲気のある空間に並べ、コンセプトストアのように楽しんでもらいたいと考えて、運営している。



2013年9月展から、それまで使っていた Bourse de Commerce（ブルス・ド・コメルス）からオペラ座近くのこじんまりした Pavillon Vendôme（パヴィヨン・ヴァンドーム）に会場を移し、彼女の考えるコンセプトをはっきりと打ち出した。

ハンドメイドの商品をつくるクリエイターから完成度の高いインダストリアルな製品まで幅広いセレクションを提案し、フェアトレードやエコ・ブランド、地域特有の伝統文化をベースにしたものなど、カテゴリーも様々だが、マリエル・ガンボア自身のテイストで選んでいるので、統一感がある。出展希望者は、ブランドのコンセプトとクリエイションをアピールする資料を送って、彼女のスクリーニングを受けなければならない。



MeMy Mode の入り口



中庭



- **オーガナイザー** : MeMy Mode  
 38, rue Servan, 75011 Paris, France  
 Tel : +33 (0)9 52 68 21 12  
[contact@memymode.com](mailto:contact@memymode.com)  
 責任者 : Mariel Gamboa
- **サロンの期間** : 年 2 回 4 日間  
 2 月末～3 月 : 秋冬コレクション  
 9 月末～10 月 : 春夏コレクション
- **場所** : Pavillon Vendôme (パヴィヨン・ヴァンドーム)  
 18 rue Daunou, 75002 Paris
- **出展者数** : 約 20 (2014 年 3 月)
- **来場者数** : 約 2000 (2013 年 9 月)
- **日本窓口** : なし

⑥ カプセル Capsule <http://www.capsuleshow.com/>

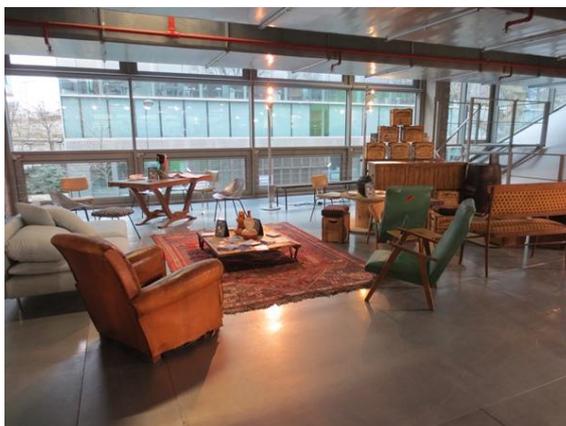
カプセルはアメリカのオーガナイザーによって 2007 年に始められた服と小物の展示会で、ベルリン、パリ、ニューヨーク、ラスベガスで年にトータルで 12 回、パリではメンズとレディースの春と秋のファッション・ウィークにあわせて、2 回ずつ開かれている。

(capsule)

カジュアルなアメリカのファッションとライフスタイルを発信する展示会として認められているが、2012 年に会場をオーステルリッツ河岸の Cite de la Mode (シテ・ド・ラ・モード) に移した頃から、カジュアルなリアルクローズでも、物づくりをきちんとしたコレクションが多くなってきた。ハイエンドのコンテンポラリーなブランドから、インディーズ系のデザイナーやプレミアムなストリート・ブランドなどを集め、現在のマッシュアップ・カルチャーのようなトレードショーを、オーガナイザーは目指している。

オーステルリッツの会場は窓からセーヌが見え、休憩スペースもゆったりと雰囲気良くつくられていたが、パリの中心地から遠くビジターにはかなり不便だったので、2014 年 3 月展からレディースは 10 区の Tapis Rouge (タピ・ルージュ) に会場を移した。

## メンズ会場 シテ・ド・ラ・モード



カジュアル店のバイヤーだけでなく、モード系のセレクトショップのバイヤーも商品を探しに来る場となっている。出展希望者は、オーガナイザーのスクリーニングを通過しなければならないが、カジュアルなテイストのブランドであれば、カプセルのターゲットと合致する可能性が大きい。2014年1月に、国際的な展示会運営会社大手のリード・エグジビションに買収されたと発表され、創始者の3人は引き続き会社に残り、展示会の運営にあたるとのことだが、この買収がカプセルの方向性をどのように変えていくのか注目されている。

- **オーガナイザー：** BPMW  
80 8th Avenue, Suite 202, 10011 New York, USA  
Tel : +1 (212) 206 8310 Fax : +1 (646) 619 4306  
[info@capsuleshow.com](mailto:info@capsuleshow.com)  
責任者 : Deirdre Maloney, Edina Sultanik, Minya Quirk

- **サロンの期間：** 年4回3日間
  - レディース 2月末～3月 : 秋冬コレクション
  - 9月末～10月 : 春夏コレクション
  - メンズ 1月 : 秋冬コレクション
  - 7月 : 春夏コレクション

- **場所** : メンズ Cité de la Mode (シテ・ド・ラ・モード)  
34 quai D'Austerlitz, 74013 Paris FRANCE  
レディス Tapis Rouge (タピ・ルージュ)  
67 rue du Faubourg Saint-Martin, 75010 Paris
- **出展者数** : メンズ 約 130 (2014年1月)  
レディス 約 70 (2014年3月)
- **来場者数** : 未発表
- **日本窓口** : なし



レディス会場 タピ・ルージュ

## ⑦ デザイナーズ&エージェンツ・パリ Designers & Agents Paris

<http://www.designersandagents.com/>

デザイナーズ&エージェンツは、ニューヨーク、ロサンゼルスとパリで開かれているアメリカのオーガナイザーによる服と小物の展示会である。パリではレディスのファッション・ウィークにあわせて年に2回行われている。

規模は大きくないが、マレー地区の雰囲気のある建物を会場に選び、こじんまりとしたアットホームな空間にコレクションを並べている。エコロジーやサステナブルを重要なテーマとして掲げ、アメリカ発のファッションとライフスタイルを提案している。





什器もダンボールでエコロジーをアピール

- **オーガナイザー :** Designers & Agents  
 80 West 40th Street, 10018 New York, USA  
 Tel : +1 (212) 302 9575 Fax : +1 (212) 302 9576  
[da@designersandagents.com](mailto:da@designersandagents.com)  
 責任者 : Ed Mandelbaum, Barbara Kramer
  
- **サロンの期間 :** 年 2 回 4 日間  
 2 月末～3 月 : 秋冬コレクション  
 9 月末～10 月 : 春夏コレクション
  
- **場所 :** Espace 5 Bis (エスパス・サンクビス)  
 5 bis rue Froissart, 75003 Paris, France
  
- **出展者数 :** 約 20 (2014 年 3 月)
  
- **来場者数 :** 未発表
  
- **日本窓口 :** なし

⑧ ウーマン・パリ / マン・パリ WOMAN Paris / Man Paris<http://www.man-shows.com/>**WOMAN MAN**

2000年代の初めから10年間ほど、比較的安い出展料で参加できる新人の登竜門的な存在で、日本からの出展者も多かった

ランデヴー展 (Rendez-vous) を運営していた主要メンバーがあらたに2012年に立ち上げたサロン。パリではメンズとレディースのファッション・ウィークの時期に開かれ、ニューヨークでも開催され、2014年7月末からはMAN TOKYOの開催も予定している。

テイストは基本的にはカジュアルトラッドだが、きちんと作りこんだコレクションも多く、規模は大きくないが、雰囲気は良く、巨大化する展示会が多い中で、こじんまりした質の高い展示会という違った方向性を示している。



2014年1月 MAN

- **オーガナイザー :** GENDER sarl. MAN / WOMAN  
24/32, rue des Amandiers, 75020 Paris, France  
T : +33 (0)6 86 45 75 91  
[info@man-shows.com](mailto:info@man-shows.com)  
責任者 : Antoine Floch, Romain Bernardie-James, Olivier Migda
- **サロンの期間 :** 年4回
 

レディース (4日間)	2月末~3月 : 秋冬コレクション
	9月末~10月 : 春夏コレクション
メンズ (3日間)	1月 : 秋冬コレクション
	7月 : 春夏コレクション

- **場所** : Yves Toudic (イヴ・トゥーディック)  
25 rue Yves Toudic , 75010 Paris France
- **出展者数** : レディス 約 80 (2014 年 3 月)  
                  メンズ 約 70 (2014 年 1 月)
- **来場者数** : 未発表
- **日本窓口** : なし



2014 年 3 月 WOMAN

## <小物、雑貨、アクセサリ>

### ⑨ プルミエール・クラス PREMIERE CLASSE

<http://www.premiere-classe-tuileries.com/>

プルミエール・クラスは、パリで年 4 回開催されるクリエイティブなアクセサリとファッション小物の展示会である。フーズネクストと同じオーガナイザー (WSN デベロップメント) が運営し、フーズネクストの会場内で 1 月と 7 月に開かれる 1st セッションと、パリのファッション・ウィーク



にあわせておこなわれる 2nd セッションのシーズン 2 回に分かれている。靴、バッグ、革小物、テキスタイル製の雑貨、ジュエリー等、幅広い商品を集めている点は、2 回のセッションに共通しているが、1st の方はクリエイティブだがより大きな売り上げを目指す幾分商業的なブランドが並び、2nd は個性豊かなオリジナリティあふれるクリエイター・ブランドがセレクトされている。ファッション雑貨の展示会としては、世界で最も重要な展示会の一つとしてバイヤーにも業界関係者にも認められ、来場者の数も多い。

出展希望者は、スクリーニングを受ける必要があるが、要求されるクリエイションのレベルはかなり高く、他にはない伝統的な技術を使ったオリジナリティのある商品でも、デザインが世界に通用するものでなければ、審査を通過するのは難しい。

2nd セッションは、靴、バッグ、ストール、アクセサリ等それぞれのカテゴリーの中で、世界で最もファッションナブルなブランドが並ぶ場なので、特にクリエイションを重視したセクションとなっている。

- **オーガナイザー：WSN DEVELOPPEMENT**

27 / 29 RUE GUÉNÉGAUD, 75006 PARIS, FRANCE

Tel : +33 (0)1 40 13 74 74 - Fax: +33 (0)1 40 13 74 84

[info@premiere-classe.com](mailto:info@premiere-classe.com)

運営責任者：Sylvie Pourrat

- **サロンの期間：年4回4日間**

秋冬コレクション：1月末（1stセッション）2月末～3月（2ndセッション）

春夏コレクション：7月初旬（1stセッション）9月末～10月（2ndセッション）

短納期でデリバリー可能な商品に関する商談が行われる場合もある

- **場所：1月と7月（1stセッション）**

Paris Porte de Versailles

（パリ ポルト・ド・ヴェルサイユ）展示会場

2月末～3月と9月末～10月（2ndセッション）

Terrasse des feuillants, Jardin des Tuileries 75001 Paris

（チュイルリーのテント）



2014年3月展

- **出展者数：1stセッション 300（2014年1月）**

2ndセッション 380（2014年3月）

- **来場者数** : 1stセッション 58,232 (2014年1月)  
                     フーズネクスト全体 (詳細は(1)ー③フーズネクスト参照)  
                     2ndセッション 16,990 (2014年3月)  
                     チュイルリーのテント全体 (詳細は(2)ー②パリ・シュール・モード参照)
  
- **日本窓口** : **株式会社 デアイ**  
                     東京都港区南青山 5-4-6-308  
                     TEL 03-3409-9495 FAX 03-3409-9684  
                     <http://www.deai-co.com/> e-mail [office@deai-co.com](mailto:office@deai-co.com)

⑩ **ザ・ボックス THE BOX**      <http://thebox-paris.com/>

ザ・ボックスは、プルミエール・クラスやフーズネクストと同じオーガナイザー (WSN デベロップメント) によって年に2回パリのファッション・ウィークに開かれる雑貨とアクセサリーの展示会である。プルミエール・クラスと同じ傘下に入り、同じ担当者がスクリーニングするため、尖がったクリエイター色の強いブランドはプルミエール・クラスへ、どちらかというクラシックなコレクションはザ・ボックスへと振り分けられている。ザ・ボックスの方も求められるデザインの基準は高い。会場のパヴィヨン・カンボンにはパリらしいシックな建物で、プルミエール・クラスとは違った雰囲気を作り出しているが、チュイルリーから少し離れているので、足を運ぶバイヤーの数がテント会場よりは少なめである。



- **オーガナイザー：WSN DEVELOPEMENT**

27 / 29 RUE GUÉNÉGAUD, 75006 PARIS, FRANCE

Tel : +33 (0)1 40 13 74 74 - Fax: +33 (0)1 40 13 74 84

[info@whosnext.com](mailto:info@whosnext.com)

運営責任者：Sylvie Pourrat

- **サロンの期間：年 2 回 4 日間**

2 月末～3 月 : 秋冬コレクション

9 月末～10 月 : 春夏コレクション

短納期でデリバリー可能な商品に関する商談が行われる場合もある。

- **場所：Pavillion Cambon (パヴィヨン・カンボン)**

46 rue Cambon, 75001 Paris France

- **出展者数：約 110 (2014 年 3 月)**

- **来場者数：16,990 (2014 年 3 月) チュイルリーのテントとザ・ボックス全体  
(詳細は(2)－②パリ・シュール・モード参照)**

- **日本窓口：株式会社 デアイ**

東京都港区南青山 5-4-6-308

TEL 03-3409-9495 FAX 03-3409-9684

<http://www.deai-co.com/> e-mail [office@deai-co.com](mailto:office@deai-co.com)

## ⑪ ビジュールカ・パリ Bijorhca Paris <http://www.bijorhca.com/>

ビジュールカ・パリは年に 2 回パリで開かれるコスチューム・ジュエリー展。ファンシージュエリー、デザイン・ジュエリー、シルバー・ジュエリー、ライセンス・ジュエリー、ファッション・アクセサリー等の国際見本市である。

2013 年には 7 月に開かれていた展示会が、2014 年からは、メゾン・エ・オブジェに合わせて 9 月に開催されることになった。

アクセサリー専門の展示会であり、ファンタジー部門ではクリエイティブな商品が増えていることからビッグバイヤーも訪れるようになり、プルミエール・クラスの 1st セッションから移ってくるブランドも見られる。オーガナイザーも展示会のクオリティアップに力を入れている。

**BIJORHCA**  
THE INTERNATIONAL FINE & FASHION JEWELLERY SHOW



2014年1月展 (写真はBIJORHCA公式サイトより)

- **オーガナイザー : Reed Expositions France**

52-54 Quai de Dion-Bouton-CS 80001, 92806 Puteaux, **France**

Tel : +33 (0)1 47 56 21 46 Fax : +33 (0)1 47 56 24 92

[info@bijorhca.com](mailto:info@bijorhca.com)

責任者 : Richard Martin (Directeur adjoint & Directeur artistique)

- **サロンの期間 : 年2回 4日間**

1月 : 春夏および秋冬コレクション

9月 : 春夏および秋冬コレクション

服の展示会とは違い、納期は様々で、それぞれの会期のシーズンは明確ではない。

- **サロンのセクター (2014年1月展)**

セクションは3つに分かれている。宝飾・時計部門が全体の約35%、ファンタジー、クチュールやファッション・アクセサリが55%、パーツ部門が15%

ファンタジー部門のなかに Cream by Bijorhca というセクションがあり、ここでは特にクリエイティブでイノベティブなブランドをセクションしてあり、今回選ばれているのは45ブランド。

またパーツ部門は2つのセクションに分かれており、ビジターがその場で買って持って帰れるキャッシュ&キャリーとオーダーをうけるコレクションとがある。キャッシュ&キャリー・セクションは中国やインドなどアジアからの出展が多いようだ。

ビジュアのサロンとしては唯一トレンドフォーラムを持っており、ファッション・トレンドを展示しているほかに、プレシャス・ギャラリーでは、宝飾部門のベスト・オブを展示している。

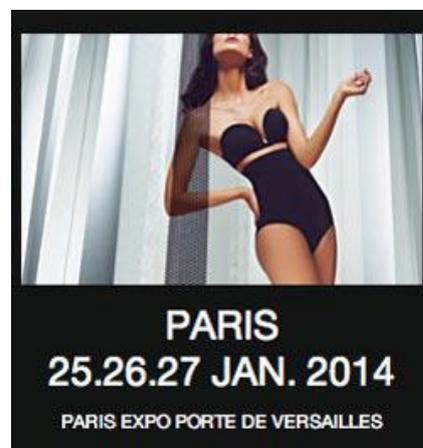
- **場所 : Paris Porte de Versailles (パリ ポルト・ド・ヴェルサイユ) 展示会場**

- **出展者数** : 581 (2014年1月) 2013年1月展に較べ34%増  
(トップテンは フランス、イタリア、スペイン、ドイツ、ポルトガル、ギリシャ、  
ブラジル、チェコ、スイス、オランダと、ほとんどがヨーロッパ)  
日本から出展しているブランドはない
- **来場者数** : 14,981 (2014年1月) 2013年1月展に較べ21.78%増  
(フランス以外で入場者が多いのは、イタリア、ベルギー、スペイン、スイス、  
ドイツ、日本、英国、ロシア、オランダ、USA、ポルトガル、ギリシャ、トルコ等)
- **日本窓口** : PROMOSALONS JAPON (フランス見本市協会)  
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-22 JC ビルディング 2F  
Tel: 03 6809 1650 Fax: 03 6809 1681  
[japan@promosalons.com](mailto:japan@promosalons.com)

## <インナー、ランジェリー>

### ⑫ アンテルフィリエール Interfilière Paris <http://www.interfiliere.com/>

アンテルフィリエールは、パリで年に2回開かれているランジェリーおよびビーチウェア用の素材と副資材の展示会である。パリでは30年ほど前から行われている歴史のある展示会で、2005年から上海、2006年から香港で、年に1回開催されている。アジアでの開催に先駆けて開かれるパリ展は、ファブリックからレース、刺繍、服飾資材まで、革新的な技術とクリエイションが発表される場で、ランジェリー・水着のトレンドを見極め、インスピレーションを得るために世界中からビジターが集まってくる。



### ● **オーガナイザー : Eurovet SAS**

37-39, rue de Neuilly, 92582 Clichy Cedex, France

Tel : +33 (0)1 47 56 32 32 Fax : +33 (0)1 47 56 32 99

[lneree@eurovet.fr](mailto:lneree@eurovet.fr)

責任者 : Laurence NEREE

- **サロンの期間**：年 2 回 3 日間
  - 1 月：春夏用素材
  - 7 月：秋冬用素材
  
- **サロンのセクター**（2014 年 1 月）
  - レース・イット：レース
  - ブロードキャスト：刺繍
  - ネオスキン：ニット、布帛、プリントなどのテキスタイル
  - アクセス・フォリ：飾り紐、ボタン、ホック、パール、リボンなどの資材
  - クリエイティブ・ラボ：ターゲットはテキスタイルデザイナーなど
  - ソーシング：ヨーロッパ近隣でのソーシングに興味のあるバイヤー向
  
- **場所**：Paris Porte de Versailles（パリ ポルト・ド・ヴェルサイユ）展示会場
  
- **出展者数**：約 160（2014 年 1 月）
  
- **来場者数**：未発表（2014 年 1 月）  
11,054（2013 年 7 月）
  
- **日本窓口**：PROMOSALONS JAPON（フランス見本市協会）
  - 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-22 JC ビルディング 2F
  - Tel: 03 6809 1650 Fax: 03 6809 1681
  - [japan@promosalons.com](mailto:japan@promosalons.com)



アンテルフィリエール 2014 年 1 月展  
（写真は Journal du Textile より）

## ⑬ パリ国際ランジェリー展 Salon International de la Lingerie モード・シティ Mode City

<http://www.lingerie-swimwear-paris.com/>

パリ国際ランジェリー展は、毎年1月にパリで行われる。ランジェリーを中心に補正下着、ラウンジウェア、ヨガウェア、レッグファッション等の秋冬物を扱う展示会である。春夏物は、7月初めにモード・シティ (Mode City) という名前で開催され、ランジェリー、ラウンジウェア、ヨガウェア、ダンスウェアなどのほか、ファッション水着も展示される。上海でも Shanghai Mode Lingerie として、年に1回インテルフィリエール展と同時に開催されている



最近では、インナーとアウターの境がなくなりつつあるので、ランジェリー専門店ばかりではなく、ファッションを売るセレクトショップのバイヤーもターゲットとしている。



パリ国際ランジェリー展 2014年1月展 (写真は Fashion Mag より)

### ● オーガナイザー : Eurovet SAS

37-39, rue de Neuilly, 92582 Clichy Cedex, France

Tel : +33 (0)1 47 56 32 32 Fax : +33 (0)1 47 56 32 99

[smarchesi@eurovet.fr](mailto:smarchesi@eurovet.fr)

責任者 : Séverine MARCHESI (Commissaire generale)

- **サロンの期間**：年1回ずつ 3日間  
     パリ国際ランジェリー展 1月：秋冬コレクション  
     モード・シティ 7月：春夏コレクション
  
- **サロンのセクター**  
     **ランジェリー展**（2014年1月展）  
         ザ・エッセンシャル：ランジェリーのビッグ・ブランド  
         コクーニング：ホームウェア、ラウンジウェア、ナイト・ランジェリー  
         デザイナー・レーベル：デザイナーのコレクション  
         リミテッド・エディション：若いクリエイターのコレクション  
         ソー・ヒム：メンズ・アンダーウェア  
     **モード・シティ展**（2014年7月展）  
         スーパーロード：メンズの水着、下着、ラウンジウェア、ホームウェア  
             （今年から始まったセクター）  
         ザ・エッセンシャル&コクーニング：水着、ビーチウェア、ランジェリー、ホームウェア、  
             ラウンジウェア、ナイト・ランジェリー  
         リミテッド・エディション：若いクリエイターのコレクション  
         デザイナー・レーベル：デラックス・ブランドとデザイナー水着、ランジェリー、  
             ビーチウェア  
         ジャスト・ファッション：モードとスポーツウェアの有名ブランド  
         アクセサリー：ビーチでのトータルルックをつくるための雑貨類（バッグ、靴  
             ビーチタオル、ビジュウ、サングラス、帽子など）
  
- **場所**：Paris Porte de Versailles（パリ ポルト・ド・ヴェルサイユ）展示会場
  
- **出展者数**：パリ国際ランジェリー展 約550ブランド（2014年1月）  
     モード・シティ 約500ブランド（2013年7月）
  
- **来場者数**：パリ国際ランジェリー展 約17,000（2014年1月）  
     モード・シティ 15,330（2013年7月）
  
- **日本窓口**：PROMOSALONS JAPON（フランス見本市協会）  
     〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-22 JCビルディング 2F  
     Tel: 03 6809 1650 Fax: 03 6809 1681  
     [japan@promosalons.com](mailto:japan@promosalons.com)

## <テキスタイル>

### ⑭ テックスワールド Texworld

<http://www.texworld.messefrankfurt.com/>

テックスワールドは年に2回パリで開かれ、世界各国から700近いメーカーが出展する国際的なテキスタイルの展示会である。セクターはコットン、シルク、



ウール等素材別に分かれた生地と副資材。またメッセ・フランクフルトがアジアでのソーシング需要拡大のために2011年から開始したアパレル・ソーシング展示会が同時に同じ会場で開催されるようになっている。アパレル・ソーシングの2014年2月展では、出展者110社で1年前より55%増えた。テックスワールドでは、中国、インドを中心に、パキスタン、タイ、トルコ、韓国等が目立っているが、アパレル・ソーシングでは中国の次にバングラデシュからの出展が多い。

プルミエール・ヴィジョンが最先端のテクノロジーやイノベーションを重視した高品質に力を入れているのとは対照的に、テックスワールドでは“持続可能な開発”にスポットが当てられている。2014年1月展では、サステナブル（Sustainable）・ソーシングとして、13カ国から54社が出展しているほか、サステナブル・フォーラムには200サンプルが展示されており、特別なラウンジをもうけて情報交換を活発にして、繊維産業においても循環型社会を目指そうという目標を掲げている。アジアの下請け工場での様々な問題や、低価格大量消費への非難に対して、H&Mがうちだした使用済み商品を引き取ってリサイクル商品として販売するという繊維の循環型システムをはじめとして、国際的なマスディストリビューション・グループのこれからの方向性を見て、低価格素材のビッグクライアントである彼らの意向に沿った戦略を立てていると言えるだろう。

日本企業は2014年1月展には2社出展していたが、ターゲットとなる価格帯が低いので、日本企業がここに食い込むのは難しいと思われる。



TEXWORLD 2014年1月展 (写真はTEXWORLD公式サイトより)

- **オーガナイザー** : Texworld Messe Frankfurt France SAS  
 1,3 Av. de Flandre, 75019 Paris, France  
 Tel : +33 (0)1 55 26 89 89 Fax : +33 (0)1 40 35 09 00  
[texworld@france.messefrankfurt.com](mailto:texworld@france.messefrankfurt.com)  
 責任者 : Michael Scherpe, Stephanie Keukert
  
- **サロンの期間** : 年 2 回 4 日間  
 2 月 : 春夏コレクション  
 9 月 : 秋冬コレクション
  
- **場所** : Parc d'expositions Le Bourget (パリ ル・ブルジェ) 展示会場
  
- **出展者数** : 25 カ国から 631 メーカー (2014 年 1 月)
  
- **来場者数** : 13,523 (2014 年 1 月) 85%がフランス以外から
  
- **日本窓口** : メサゴ・メッセフランクフルト株式会社  
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F  
 Tel: 03 3262 8453 Fax: 03 3262 8442  
[info@mesago-messefrankfurt.com](mailto:info@mesago-messefrankfurt.com)



TEXWORLD 2014 年 1 月展 トレンドフォーラム  
 (写真は TEXWORLD 公式サイトより)



サステナブル・ラウンジ

### (3) その他

#### ① ジャパン・エキスポ Japan Expo

<http://www.japan-expo.com/>

<http://nihongo.japan-expo.com/>



ジャパン・エキスポは、毎年7月にパリ北郊外の展示会場で開かれる、マンガ、アニメ、ゲームなど日本のサブカルチャーを中心にすえ、日本の「いま」を発信する音楽、ファッション、映画や、書道、武道、茶道、折り紙や料理などの伝統文化も加えた大きなイベントである。

2000年に日本文化の熱狂的なファンであった数人のフランス人の若者が、漫画や伝統文化の素晴らしさを伝えたいと始めたイベントは、現在では、ヨーロッパ最大規模の日本文化とエンターテインメントの祭典となっている。

イベントのコンテンツは、ファッションショー、ライブコンサート、映画の上映会、コスプレやカラオケのコンクール、武道のデモンストレーションなど、多彩である。また、漫画家やキャラクターデザイナー、ミュージシャン等がゲストとしてジャパン・エキスポに参加し、トークショーやサイン会も行われる。

最近では、日本からの出展者も多く、地方自治体や日本政府観光局などの行政機関も参加。2013年7月には日本で大人気の「ゆるキャラ」、くまモン（熊本県/市）とひこにゃん（彦根市）が登場し、それぞれの地方のプロモーションを行った。

毎年フランス国内をはじめ、近隣のヨーロッパ諸国から来場者が訪れ、2013年には入場者が23万人を超えた。イベントのビジターは日本文化のファンである消費者が中心だが、ビジネス交流を目的としたB2Bセンターも設けられており、ブランドの認知度を上げる目的であれば、効果があると考えられる。

出展希望者はサイトから入って、日本語で申し込みをすることが出来るが、主催者のスクリーニングがあり、扱う商品によっては（宗教関係やポルノ等）、断られる場合もある。

ジャパン・エキスポは、オルレアン、マルセイユ、ベルギーのブリュッセルでも開かれ、2013年8月には、アメリカのカリフォルニア州サンタクララで初めて開催された。



2013年7月展 (写真は Japan Expo 公式サイトより)

- **オーガナイザー : SEFA EVENT (JTS GROUP COMPANY)**  
 14 Place Georges Pompidou 93160 Noisy - Le - Grand France  
 Tel: +33 (0)1 79 95 80 65 Fax: +33(0)1 79 95 80 77  
[contact-japan@sefa-event.com](mailto:contact-japan@sefa-event.com)  
 責任者 : Jean-François DUFOUR, Sandrine DUFOUR, Thomas SIRDEY
  
- **フェスティバルの期間** : 年1回 2014年からは5日間 7月
  
- **場所** : Paris-Nord/Villepinte Parc des Expositions  
 (パリ・ノール パーク・デ・エクスポジション) 見本市会場
  
- **出展者数** : 712 ブース (2013年7月) 内日本から78ブース  
 (フランス : 約75% ヨーロッパ : 約10%)
  
- **来場数** : 232,876 (2013年7月)
  
- **日本窓口** : Japan Expo 日本駐在事務所  
 東京都品川区上大崎 2-15-19 目黒駅前ビル 613号  
 Tel: 03-4540-1124 Fax: 03-4540-1000

### 3. まとめ

前項では、パリで開かれるそれぞれの展示会の特徴を説明してきたが、同じジャンルの商品を扱う展示会が複数あり、出展するブランドのレベルやスタイルが違い、そこでバイイングする店のテイストも違っているため、パリ出展を考えた際には、自社の商品をどの展示会のどのセクターで販売したら一番効果的なのか判断するために、実際に展示会に足を運び自分の目で見て確認するのが望ましい。例えば、9月末と2月末から始まるパリ・コレクションの時期に出張すれば、トラノイ、パリ・シュール・モード、プルミエール・クラス等2ndセッションのクリエイター・サロンを見ることができ、1月中旬から下旬にかけて出向けば、メゾン・エ・オブジェ、フーズネクストやトラノイ・プレビュー、メンズのクリエイター・サロンを視察することができる。展示会の現場で、自社ブランドのターゲットとするマーケットや顧客層を決定し、海外市場に合った商品企画を進めていくために、競争相手となる海外ブランドのプライスやクオリティを調査することも可能である。

目指す展示会が決まったら、まずオーガナイザーのスクリーニングを受けなければならない。出展の準備はこのプレゼン資料作りから始まる。会社概要、既存販売先情報だけでなく、ブランドのコンセプトを説明し、ブランドのイメージが伝わるような商品写真を含むビジュアルを送らなければいけないが、これが海外向けコミュニケーションの第一歩となる。国際的なビジネスを進めていく際には、日本でのビジネス以上にコミュニケーションを密にし、人間関係を構築することが重要である。展示会の主催者に対しても、顧客となる店のバイヤーに対しても、相手の文化を理解し、何が求められているか理解した上で、簡潔で分かりやすいコミュニケーションを心がけていかなければいけない。プレゼン資料についても、フランスやイギリスのクリエイター・ブランドのホームページを参考にするなどして、国際的にアピール出来る内容を目指さなければならない。

海外マーケットに新規参入するには言葉の問題やテイストの違いなどクリアしなければいけない壁が沢山あるが、国際的な展示会に参加するという手段は、日本の市場が縮小し、海外への販路開拓を余儀なくされるこれからの時代に不可欠になっていくと思われる。

日本がフランスのように、国際的な展示会を開催し、世界中から出展者もバイヤーも集められるようになるには、まだまだ道のりは遠い現在、すでに確立している海外の展示会への参加が早道だろう。しかし、展示会に出展したからといって、すぐにオーダーが入るとは限らない。最初の数シーズンはオーダーの数量が伸びない場合の方が多いが、展示会期間中にできるだけ情報収集し、自社の技術や伝統を大事にしながらも、時代の流れをつかみ、求められている方向性に対して商品を柔軟に適応させていく必要があるだろう。パリの展示会が日本と大きく違うのは、バイヤーがその場で即決し、オーダーシートに数を入れていく場合が少なくないことである。いったん仕入れた商品は買い取りで、欠陥がなければ返品されることもないため、バイヤー達にとっても展示会は次シーズンの店の命運がかかった勝負の場なのである。バイヤー達は、オーダーを入れない場合にも、ある程度商品が良いと思えば買えない理由をコメントとして残していくことが多いので、その批判を的確に分析し、商品を発展させていければ、世界の市場に受け入れられる可能性は十分にある。そのためには、一歩ずつ進みつつ継続していくことが何よりも重要なことだろう。